

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第58号

発行／いずみ会 編集／いずみ会会報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所 東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号
ホームページ <http://www.izumikai.com> e-Mail izumikai@v7.com

主な記事	
2・3	執行部
4～8	母校関係
9・10	緑蔭
11～16	OB会・同期会
17	寄付者・広告提供者一覧
18	声・訃報
19	お知らせ
20	総会ご案内

いずみ会の現状と課題 いずみ会会長 高津 幸一



6月の評議員会で役員改選があり全体としては少し若返りを果たすことができましたが会長は居残りとなりました。

今年の評議員会も母校で開かれましたが、評議員の方々には恒常的に通行可能となった桜並木を歩んで往時を懐かしみ、整備されたグラウンドの立派

さに目を瞠り、それを見下ろす大時計がいずみ会の寄贈にかかるものであることを知って感動して頂きました。これらは来るべき総会の日もかわらず皆様をお迎えするはずです。

いずみ会は全会員のお手許に会報をお届けして心のときめきを覚えていただいているものと信じております。昨年からはホームページも充実させました。是非閲覧して下さい。総会・懇親会も、サークル活動も隆盛です。母校には社会人講話や英語講座などに講師を派遣し外装に相応しい内実を与えることに参画しております。このようにいずみ会は表向き極めて順調といえそうです。

しかし深刻な課題もあります。理事会の努力に拘わらず評議員の方からの返信が一人もない期を数えると指が不足しそうです。会員情報部幹事は2万3200名の会員を名ばかり会員にしないための大切な役割があります。是非皆様それぞれの期の評議員と会員情報部幹事が奮起されるよう声をかけて下さい。会費納入率は減少傾向にあります。多数の御協力をお願いします。

ホームページ運営や会費納入管理にはシステム技能者の協力が不可欠です。それではと名乗り出て下さる方をお待ちしております。

いずみ会は昭和20年に創立されました。来年は70周年を迎えます。記念式典には多くの皆様の御参加をお願いします。また記念名簿の発行には全会員の御協力を。そして記念行事のために今年は例年の数倍の方の御寄附を。

いずみ会は会員の心の拠り所として会員の意欲的活動を支えて参りたいと思います。

平成26年度役員紹介

- | | | |
|-----|-----------------------|---------------|
| 会長 | 高津 幸一 (高13期) | |
| 副会長 | 片山 隆 (高8期) | 大申 康夫 (高14期) |
| | 石川 文武 (高15期) | |
| 理事 | 二宮 靖子 (高8期・会報部長) | |
| | 成田 俊彦 (高17期・会員情報部長) | |
| | 青木 隆 (高18期・事務局長) | |
| | 荒井 真理子 (高20期・総務・企画部長) | |
| | 山口 達夫 (高20期・会計部長) | |
| | 山川 新 (高24期・人材バンク部長) | |
| | 布施 百合子 (高14期) | 村上 広 (高15期) |
| | 別所 信子 (高18期) | 小出 薫 (高18期) |
| | 橋本 豊 (高18期) | 直井 美喜子 (高18期) |
| | 田村 明子 (高19期) | 小林 憲一 (高20期) |
| | 中川 恵 (高20期) | 真柳 仁 (高24期) |
| | 清水 由里 (高28期) | |
| 監査役 | 寺島 孝 (高18期) | 佐久間 優行 (高19期) |
| | 平井 秀明 (高22期) | |



どうぞよろしく願いたします

ありがとうございました！ 退任理事ご紹介

松岡五郎さん(高5期)・有田二郎さん(高6期)・須藤一彦さん(高9期)・荒井亮三さん(高12期)・大高光蔵さん(高13期)・榎原章人さん(高18期)・鈴木三枝子さん(高18期)・宇多正行さん(高25期)

いずみ会役員として、会員相互の親睦、会の活性化に大にご尽力いただきました。これからもいずみ会を優しく且つ厳しい目で支えて下さい。長い間お疲れ様、そしてありがとうございました。

本年度
いずみ会総会・懇親会 (於 母校1階食堂・練馬区立勤労福祉会館)
平成26年10月26日(日)午後1時半より受付開始 (詳細は20ページをご覧ください)

定時評議員会報告

総務・企画部長 荒井 眞理子

正門から緑濃い桜並木のプロムナードを通れば、正面に鮮やかなグリーンの新グラウンド。平成26年6月14日(土)、例年より2週間ほど遅れていずみ会平成26年度定時評議員会が母校食堂にて開催されました。お忙しい時間を縫って、母校からは柴田誠校長・北江繁治副校長・清水和紀附属中学校副校長、PTAから堂山愛生会長・高岡未央副会長・荒幡久美子顧問にご出席いただきました。全員で校歌斉唱の後、中川恵理事より評議員会成立の報告があり(定足数205名:13:25現在出席者71名、委任状提出者244名の計315名)高津会長より、年々充実してきているいずみ会の活動の、さらなる課題として①評議員・会員情報部員の意義と充実②財務の面で会費収入の納入率向上③システム技術者の確保等に取り組んでいきたい旨お話がありました。今年度大泉へ着任された柴田校長からは、中学との併設は6年という時間をかけて子供たちをじっくり育て、歴史を創っていくという事であると考えます。「大泉」という伝統、価値を大切に、中学・高校それぞれの文化の違いを上手に連携させ、少人数という事の利点であるチームワークの良さも有効に活用して、あ

の手この手で育てていきたいとお話がありました。挨拶の後、議長に田中昇次評議員(高13期)を選出して審議に入りました。

第1号議案、平成25年度事業について青木事務局長から平成27年いずみ会70周年に向けて実行委員会が結成され記念名簿を発行の準備が始まったこと、新しいホームページの運用が開始され、運用細則、広告掲載要項を決定。会費管理システムの更改への検討を始めたことが報告されました。続いて山口会計部長から決算について、収入では相変わらず減収傾向であるが、母校との協力により入会金の回収率が上がってきていること、支出では母校支援費を一般会計に繰り入れたため大幅な赤字に見えるが実際は予算よりかなり少ない支出で終わっている事が報告されました。寺島監査役からは監査の結果、会計面、事業面共に適正に執行されている旨報告がありました。

第2号議案のいずみ会規則改正の件については青木事務局長から、規則第2章第4条にホームページ部を、その費用の把握と効率化、活用レベルの向上などのために設立したいとの提案がありました。

第3号議案では、平成26年度事業計画について青木事務局長から従来の取り組みのほか、70周年記念名簿発行者選定、記念行事実行委員会の活動の本格化と「5の会」に拘らず広く協力者を求めて対応していくこと、会計システム更改に取り組んで行く事があげられました。山口会計部長からは、収入面で赤字予算であるが収入を増やす努力も引き続きして行く事、支出では会計管理システム構築、いずみ会室空調取り換えの予算を組んでいる事などが報告された。

第4号議案、新役員選任の件、片山選挙管理責任者から新役員候補者が一括して紹介されました。以上の審議事項は総て承認されました。

最後に「4の会」会長大申康夫評議員(高14期)より、新グラウンドが完成して新装なった母校を見て頂こうと「新しい大泉、4で・呼んで・呼び合って」をキャッチフレーズに楽しい集いを計画していますので是非ご参加下さいとの挨拶と呼びかけがあり、全ての審議・報告事項を終えて、定時評議員会は閉会となりました。

平成25年度 いずみ会事業報告

平成26年度 いずみ会事業計画(案)

いずみ会は規約に沿って、次の事業を実施した。

第1. 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成25年5月25日(土)に母校会議室で開催し、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画案を承認した。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 平成25年度は、理事会を11回、監査会を2回開催した。
2. 評議員取り纏め、あるいは会員情報部幹事不在の期に対して選出のはたらきかけを行った。一定の成果が得られたが、まだ、それぞれ不在の期が有る。
3. 各期評議員の登録更新を行った。
4. 平成25年4月と12月に開催された都立高校同窓会連絡協議会に参加した。

第3. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第57号を平成25年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。
 - ・会長挨拶(名簿発行の方針について)
 - ・平成26年度役員改選の公告
 - ・平成24年度評議員会報告(平成24年度事業報告、平成25年度事業計画等)
 - ・母校祝詞、恩師近況、野球部の活躍
 - ・母校創立70周年・新校舎落成式典
 - ・母校キャリア教育社会人講話及び中学校夏季英語講座報告
 - ・母校70周年 思い出を語る
 - ・まんぼうの足跡
 - ・会員の集い 部活動OB会、同期会報告等
2. 新ホームページの運用を開始した。
 - ・記事掲載については担当部署に権限委譲した結果、記事掲載の迅速化、情報内容の充実について一定程度の成果が得られた。
 - 1ヶ月平均約6,000のアクセスがある。
 - ・記事、広告等の掲載内容について審議する仕組みとして、ホームページ委員会を設置し、それに伴って内規を改正し、運用細則及び広告掲載要綱を制定した。

第4. 総会の開催

平成25年10月27日(日)、母校視聴覚ホールにて開催した。いずみ会の活動や母校関連事項の報告を行い、後半は食堂に会場を移し「3の会」の企画運営による懇親会を行った。

第5. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、各期会員情報部幹事の確認と積極的な会員情報活動を促した。
2. 「高校66期の名簿」を作成、配布した。

第6. 財政管理

1. 会費納入率の向上、寄付金額の増加、広告額

の増加等の増収対策を今年度の課題としたが、広告については残念ながら前年実績を下回った。また寄付金は増加しているものの会費納入率については課題を残した。

2. 入会金に関する規則を改正した。また母校の協力を得て、卒業積立金からの入会金振込みをお願いし納入率が大幅に向上した。
3. 会の財政を改善するために経費節減に努めた。
4. 会費管理システムについては、稼働開始から相当の時間が経過し、メインテナンスが困難となっている。会費管理システム更改が急務となった。

第7. 母校との連携

1. 母校の発展に寄与するため、中学生への英語教育、高校生への社会人講話、その他の学校の諸活動や、母校の部活動への支援を行った。
2. 平成25年9月開催の母校文化祭で「3の会」の協力を得て、いずみ会のPRを図った。
3. 夏の西東京野球大会でベスト16に進出した野球部に公式球を贈呈した。
4. 新グラウンドに面する新校舎壁に時計を贈呈した。
5. 在校生にいずみ会文庫を有効に活用していたために、いずみ会文庫の書籍を学校に移管した。
6. 平成26年3月「いずみ会入会式」を開催し、66期196名が入会した。

第8. 人材バンク活動

1. 有能な人材の発掘と登録、活用を行った。英語教育や社会人講話では成果が得られた。更なる活性化が課題である。
2. 活性化のベースであるサークル活動へ、支援を行った。

第9. いずみ会創立70周年

1. 実行委員会準備会を立ち上げた。
 2. 70周年記念名簿発行準備にとりかかった。
- 第10. 新役員改選準備
理事会が平成26年度改選の準備を行った。
- 第11. 将来に向けての運営体制の拡充 規約、収入の仕組みなどを現状にあわせて、再構築するためのワーキンググループを作り検討する計画であったが残念ながら実行できなかった。来年度以降への継続課題とするが、一番大きなテーマは中高一貫校化に伴う規約改正や長期的な財務体質強化等である。

いずみ会は規約に沿って、次の事業を実施する。

第1. 評議員会の開催

定時評議員会を平成26年6月14日(土)に開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月、監査会は年2回開催する。
2. 各期評議員の登録更新を年度末までに行う。あわせて評議員取り纏めや会員情報部幹事不在期に対して選出をはたらきかける。

第3. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第58号を平成26年10月初頭に発行する。
2. ホームページのより一層の充実を図るため、ホームページ部を設立する。

第4. 総会の開催

平成26年10月下旬に開催を予定している。

第5. 会員情報の整備

1. 会員情報整備に向けて、各期会員情報部幹事の確認と積極的な活動を促す。
2. 平成27年に、いずみ会70周年記念名簿を発行する。従来はいずみ会内で名簿を作成してきたが、名簿作成、広告募集、印刷業者との折衝などに必要な労力をいずみ会内部で確保することは現状では困難である。しかし、多くの都立高校をはじめ全国で同窓会名簿発行実績を持ち、個人情報保護体制も整備した業者から、複数の提案を受けている。いずみ会も、制作費用は業者が負担し、いずみ会は費用を負担しないビジネスモデルである。提案内容を比較検討し、業者を選定し委託する。
3. 「高校67期の名簿」を作成、配布する。

第6. 財政管理

1. 会費管理システムを更改する。
2. 会費、入会金、広告収入等の増収のための啓蒙活動を推進する。
3. いずみ会70周年を契機に積極的に会員に対して呼びかけ寄付金を募集する。

第7. 母校及びPTAとの連携

1. 母校PTAと協力して母校支援を強化し母校の発展を図る。
2. 母校の発展に寄与するため社会人講話、英語教育、部活動支援等を行う。
3. 文化祭、ホームルームでのいずみ会紹介、入会式等の場を通して、在校生および保護者にいずみ会への理解を求めていく。
4. 母校発展の為に、在校生がより学びやすい環境にすることが望まれる。母校と相談して、いずみ会の取組むべき支援を積極的に図る。

第8. 人材バンク活動

1. 有能な人材の発掘を行い、登録制度を活用して活躍の場を拡大する。
2. 活性化のベースであるサークル活動へ支援を行う。

第9. いずみ会70周年記念事業への取組

- 記念式典及び祝賀会を平成27年10月下旬開催予定であり、それに向けて実行委員会活動を本格化する。在校生支援の強化、若手同期会の支援、部活動OB会の連携などを図っていく。周年事業を契機に会の活性化を図っていく。
- 第10. 将来に向けての運営システムの改革
中高一貫校化に伴う規約の改正、長期的な財政基盤再構築のためにワーキンググループをつくり検討立案する。

◇評議員会出席者一覧◇

春日孟・須賀功・永川俊彦・藤井宏(中1期) 熊谷光恭・山岡竹三郎(高3期) 静谷哲治・橋本宏・比嘉高(高4期) 青山喜彦・大澤登・尾崎雄三・川津邦雄・松岡五郎・田中依子(高5期) 有田二郎・嶋田博伸・遠畑啓・豊島志朗・舛巴淳子(高6期) 三島英雄(高7期) 茂木光男・谷治正孝・片山隆・宇田川公子(高8期) 木暮京子・石村進・高木博明・大軒史子(高9期) 羽根田千賀子・野口悦子・高橋幸貴・田島寛・藤田肇(高10期) 関根強一・富田順子(高11期) 相川光夫・板橋昭寿(高12期) 早川淳・高野高志・田中昇次・小松富貴子・国澤栄子・大高光誠・笠原孝之・高津幸一(高13期) 飯沢武士・布施百合子・高木登彦子・國谷俊之・三原寿太郎・大申康夫・三森友直・松倉基子・添田禮子(高14期) 石川文武・村上広(高15期) 木村亜紗子・大場修一(高16期) 中津隈健一・成田俊彦(高17期) 石田智秀・橋原猛夫・別所信子・酒井君枝・酒井陽三・青木隆・安斉秀行・正木達夫・鈴木三枝子(高18期) 田村明子・小山雅文・進藤幸子・内田彰・佐久間優行・松井恵美子(高19期) 荒井眞理子・中川恵・山口達夫・小山恵一郎(高20期) 花澤亮司(高22期) 山川新(高24期) 宇多正行・佐藤敏之・高久鉄雄(高25期) 宇野伸一・竹林悦子(高27期) 野島陽子・清水由里(高28期) 田中宏高(高29期) 鎌田政信・小泉成実・小倉扶美子・昇多加代・樽美智代(高32期) 植村直人(高50期) 増田航(高63期) 寺島孝(一般会員)

平成25年度 収支決算 (自平成25年4月1日～至平成26年3月31日)

科 目	平成25年度予算	平成25年度実績(A)	予算過不足((A)-予算)
(収入の部)			
入会金	510,000	525,000	15,000
前受金戻入	460,000	460,000	0
当期入金分	50,000	65,000	15,000
会費	2,499,000	2,404,000	△95,000
前受金戻入	2,069,000	2,069,000	0
当期入金分	430,000	335,000	△95,000
寄付金	960,000	1,109,500	149,500
総会参加費	600,000	414,000	△186,000
名簿関係収入	90,000	105,000	15,000
広告収入	500,000	255,000	△245,000
雑収入	80,000	18,147	△61,853
合 計	5,239,000	4,830,647	△408,353

科 目	平成25年度予算	平成25年度実績(A)	予算過不足((A)-予算)
(参考)			
前受入会金	500,000	740,000	240,000
前受会費	2,100,000	1,452,000	△648,000

注：前受入会金は次年度の収入、前受会費は次年度以降各年度の収入となる。

科 目	平成25年度予算	平成25年度実績(A)	予算残(予算-(A))
(支出の部)			
総会関連費	730,000	596,631	133,369
役員・評議員会合費	430,000	340,787	89,213
監査役会費	10,000	5,896	4,104
広報費	2,900,000	2,717,007	182,993
会費関連費	90,000	65,662	24,338
会員情報関連費	70,000	59,603	10,397
母校連絡費	120,000	75,084	44,916
会員活性化費	80,000	37,528	42,472
消耗品費	20,000	6,978	13,022
いずみ会室関連費	780,000	750,499	29,501
雑費	20,000	6,458	13,542
予備費	400,000	0	400,000
小 計	5,650,000	4,662,133	987,867
母校支援費	1,000,000	752,953	247,047
在校生教育支援	200,000	136,510	63,490
卒業生記念品・皆勤賞	200,000	103,098	96,902
部活動助成金	570,000	513,345	56,655
予備費	30,000	0	30,000
合 計	6,650,000	5,415,086	1,234,914

項 目	平成25年度予算	平成25年度実績
(収支の部)		
当期収入	5,239,000	4,830,647
当期支出	6,650,000	5,415,086
当期収支残	△1,411,000	△584,439
前期繰越金	6,002,287	6,002,287
振替	12,393,530	12,393,530
次期繰越金	16,984,817	17,811,378

平成26年度 収支予算 (自平成26年4月1日～至平成27年3月31日)

科 目	平成25年度実績(A)	平成26年度案(B)	(B)-(A)
(収入の部)			
入会金	525,000	800,000	275,000
前受金戻入	460,000	740,000	280,000
当期入金分	65,000	60,000	△5,000
会費	2,404,000	2,304,000	△100,000
前受金戻入	2,069,000	1,954,000	△115,000
当期入金分	335,000	350,000	15,000
寄付金	1,109,500	1,300,000	190,500
総会参加費	414,000	500,000	86,000
名簿関係収入	105,000	0	△105,000
広告収入	255,000	300,000	45,000
雑収入	18,147	20,000	1,853
合 計	4,830,647	5,224,000	393,353

科 目	平成25年度実績(A)	平成26年度案(B)	(B)-(A)
(参考)			
前受入会金	740,000	740,000	0
前受会費	1,452,000	1,400,000	△52,000

注：前受入会金は次年度の収入、前受会費は次年度以降各年度の収入となる。

科 目	平成25年度実績(A)	平成26年度案(B)	(B)-(A)
(支出の部)			
総会関連費	596,631	630,000	33,369
役員・評議員会合費	340,787	430,000	89,213
監査役会費	5,896	10,000	4,104
広報費	2,717,007	2,900,000	182,993
会費関連費	65,662	790,000	724,338
会員情報関連費	59,603	55,000	△4,603
母校連絡費	75,084	100,000	24,916
会員活性化費	37,528	70,000	32,472
消耗品費	6,978	20,000	13,022
いずみ会室関連費	750,499	980,000	229,501
70周年記念事業関連費		20,000	20,000
雑費	6,458	20,000	13,542
予備費	0	400,000	400,000
小 計	4,662,133	6,425,000	1,762,867
母校支援費	752,953	1,000,000	247,047
在校生教育支援	136,510	200,000	63,490
卒業生記念品・皆勤賞	103,098	200,000	96,902
部活動助成金	513,345	200,000	△313,345
予備費	0	400,000	400,000
合 計	5,415,086	7,425,000	2,009,914

項 目	平成25年度実績(A)	平成26年度案(B)	(B)-(A)
(収支の部)			
当期収入	4,830,647	5,224,000	393,353
当期支出	5,415,086	7,425,000	2,009,914
当期収支残	△584,439	△2,201,000	△1,616,561
前期繰越金	6,002,287	17,811,378	
振替	12,393,530		
次期繰越金	17,811,378	15,610,378	

貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(資 産)			(負 債)				
科 目	2013.3.31 現在	2014.3.31 現在	増 減	科 目	2013.3.31 現在	2014.3.31 現在	増 減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入会金	460,000	740,000	280,000
普通預金	7,883,475	7,081,687	△801,788	前受会費	12,817,000	12,200,000	△617,000
振替口座	996,171	846,071	△150,100	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	59,179	89,628	30,449	負債合計	15,543,008	15,206,008	△337,000
				正味財産			
				正味財産計	18,395,817	17,811,378	△584,439
合 計	33,938,825	33,017,386	△921,439	合 計	33,938,825	33,017,386	△921,439

入会式

卒業式の前日平成26年3月13日に第66期となる96名のいずみ会への入会式が行われました。大高光蔵副会長より励ましの言葉と、同時に3年間皆勤賞14名へは記念品が贈られました。

新評議員一覧(敬称略)

- 1組 馬越 哲平・熊谷 崇志
- 2組 中塩 大地・南 匠
- 3組 秋山 瑞樹・松永 青由
- 4組 仲川 翔太・柳澤 壮太
- 5組 金成 泰平・富山 孔貴

平成25年度総会・懇親会

!!今までも3Q・これからも3Q!!

「3の会」では懇親会場を母校食堂に構えて、アルコール抜きの懇親会を賑やかに催しました。懇親会場の確保に四苦八苦した結果でしたが、アルコール抜きではなんとなくものさびしいとおっしゃる殿方(主に)たちも、美味しい料理にお茶、デザートにコーヒーで大いにおしゃべりに盛り上がり、のこぎりヴァイオリンの演奏、「3の会」小松富貴子さん指導による盆踊り「九州炭坑節」の輪が広がり、最後は阪神タイガースのように風船を一齐に飛ばしていずみ会の発展を祈念し、会を終えました。このような会もまた良きかな。



大泉に着任して (校長 柴田 誠)



この春、前任校の都立清瀬高等学校から着任いたしました柴田と申します。正門からの重厚な桜並木に迎えられ、創立70年以上の伝統に緊張しながらも、真新しい校舎・グラウンドを見たときに、大泉の歴史が大きく動く変革期であることを体感いたしました。

私はこの10年間、進学指導重点校など、生徒の進学指導対策を徹底的に学校経営の中に植え付ける仕事をしてまいりました。併設型中高一貫教育校がどのような学校であるべきなのか、また中学生への指導はどのようなべきなのか、私自身まだ手探りの状況です。しか

し、名立たる都立高校が中高一貫教育校に姿を変え新たな歴史を刻み始めているなかで、本校も都民や保護者の皆様の大きな期待に応えていかなければなりません。幸いにして、素直で能力の高い子供たちがたくさん入学してきています。ベテランの教職員も若手の教職員も子供たちを大切に、その期待に応えようと日々遅くまで仕事に励んでくれています。きっと、いずみ会の皆様にも、地域・保護者の皆様にも評価いただける教育活動を展開し、新たな歴史を開くことができると確信しております。来年度は新制度の生徒が6学年揃う年でもあり、また、同窓会設立70周年の節目の年でもあります。学校と同窓会の新たな連携に微力ながら私も邁進する所存です。どうぞ今後ともご支援・ご協力のほどよろしく願い申し上げます。

いずみ会からのクリスマスプレゼント！

新装なった人工芝の美しい校庭のどこからでも、生徒たちが時間を知ることができるようにと正面玄関上の壁に直径1メートルの大きな時計がかけられました。



平成25年12月24日にいずみ会から母校へプレゼントされた時計です。生徒たちをいつでも応援しています。

活躍しています！

☆硬式テニス部

南関東インターハイ・団体戦でベスト8に。参加2百数十校、都立では唯一8強入り。

☆科学甲子園 (科学コンテスト)

8月31日の大会へ向けて中学1年生6チーム、2年生1チームがエントリー。昨年は都立代表として全国大会へも出場。

久々の母校での体育祭



図書室にいずみ会文庫が開設されました！

昨年末、同窓生から寄贈された本からなるいずみ会文庫を広く生徒たちに利用していただくため、学校へ寄付をいたしました。母校の蔵書の一部となったいずみ会文庫は、図書室の入り口付近の開架にきれいに並べられ、生徒たちにお目見え。読みたい時にいつでも利用してもらえます。先輩たちの著作が後輩の学びへとつながることを期待します。



初めまして (附属中学校副校長 清水 和紀)

4月に副校長として着任した清水和紀と申します。私は東京生まれで東京育ちですが、教壇に立った最初の地は青森県で、約15年間をすごしました。全生徒40名、担任クラスが12名という中学校では、地域や保護者の方々、OBOGの存在と、その教育力の大きさに感動しました。大人たちから愛され、期待をたくさん受けた生徒たちは、それぞれ将来の夢を真っ直ぐに実現させていきました。

そして大泉でも、いずみ会をはじめ近隣や保護者、家族の方々が、母校の後輩達や本校の生徒たちへ愛情をたくさん注いでくださっています。また【三世代で大泉を卒業】というご家族がいらっしゃることが分かり、これこそが大泉の誇り、そして歴史と伝統なんだと確信したところです。

いずみ会の皆様にはこれまでも母校のために、さまざまご尽力いただき大変にありがとうございます。今後とも、何卒よろしくお願いいたします。

進路状況 (浪人生を含む)

「国公立大学」

東北1、新潟1、埼玉5、千葉1、電気通信2、東京海洋1、東京学芸4、東京工2、東京農工1、横浜国立2、信州1、前橋工科1、都留文科1、首都大学東京4、国立看護2

「私立大学」

青山学院14、麻布2、跡見学園女子2、大妻女子3、学習院5、学習院女子1、北里6、共立女子3、杏林1、慶應義塾7、工学院3、國學院5、国士館2、駒澤14、産業能率1、芝浦工業16、順天堂4、上智9、昭和女子6、女子栄養1、白百合女子1、成蹊16、専修11、創価3、大東文化6、拓殖3、玉川2、千葉工業4、中央25、津田塾1、帝京2、帝京平成2、東海2、東京医療保険1、東京家政2、東京工科1、東京国際1、東京女子7、東京造形1、東京電機6、東京都市2、東京農業6、東京薬科1、東京理科20、東洋34、東洋学園1、獨協4、日本35、日本獣医生命3、日本女子3、日本赤十字1、日本体育2、日本薬科1、文化学園1、文教1、文京学院1、法政39、星薬科1、武蔵15、武蔵野6、武蔵野美術2、明治43、明治学院17、明治薬科2、明星2、立教37、立正2、早稲田17、神奈川工科1、鎌倉女子2、湘南工科1、フェリス女学院1、龍谷1、近畿1、立命館4

「短期大学」

上野学園1、大妻女子1、女子美1、白梅1、東京家政1、東京成徳1、立教1

「専門学校」

日本医学柔整鍼灸1、エコール辻東京1

平成26年度の主な学校行事

- 4月9日 入学式
- 5月16日 体育祭
- 9月13日~14日 文化祭
- 11月4日~8日 修学旅行
- 3月12日 入会式
- 3月13日 卒業式

教職員人事異動 (敬称略)

「転出・退職」 () 内は転出先等

統括校長	菊地 芳男	(千早高)
副校長	南 和男	(教育庁)
数学	倉井 庸雄	(東久留米総合高校)
国語	高橋 仁之	(城東高校)
国語	野村 元	(竹早高校)
国語	渡辺 昭夫	(田無高校)
日本史	藤田 健太郎	(千代田区立九段中学)
数学	赤羽 隆一	(大泉高校)
数学	日高 敏之	(大泉高校)
数学	福島 完	(武蔵高校)
化学	真柴 拓哉	(桜修館中学)
生物	田中 良和	(調布南高校)
保健体育	増子 良太	(大島海洋国際高校)
英語	丸山 美穂子	(井草高校)
英語	牧 益子	(飛鳥高校)
主任教諭	吉澤 博志	(退職)
非常勤教員	手打 和明	(退職)
家庭科	石倉 栄子	(両国高校)
理科	宮川 一	(公立中学)
経営企画室	森 篤史	(鷲宮高校)
経営企画室	笠原 聡	(目黒区立油面小学校)
経営企画室	天竺桂 建史	(退職)

「転入・高校」 () 内は前任校等

統括校長	柴田 誠	(清瀬高校)
国語	杉田 真菜美	(新規採用)
国語	関 佳英	(つばさ総合高校)
数学	清水 徳子	(千代田区立九段中学)
数学	日高 敏之	(大泉高校)
数学	宮崎 康治	(狛江高校)
化学	長島 僚子	(葛飾区立金町中学)
生物	磯村 晴彦	(新規採用)
保健体育	齋藤 恭兵	(調布特別支援学校)
英語	田岡 佑太	(足立東高校)
進路	内田 志づ子	(大泉桜高校)
数学	赤羽 隆一	(大泉高校)

「転入・中学」 () 内は前任校等

副校長	清水 和紀	(教育庁)
国語	中村 奈央子	(大泉桜高校)
日本史	鈴木 祐至	(大山高校)
数学	山口 高史	(井草高校)
英語	大久保 八千代	(小石川中学)
英語	田中 博一	(新規採用)
キャリア	瀧上 哲	(橘高校)

「転入・経営企画室」

企画管理係長	志田 徹也	(西高校)
主事	桑原 和夫	(練馬特別支援)
嘱託員	中村 年宏	(総合芸術高校)

高校キャリア教育・社会人講話 講師とテーマ

平成21年度から開始されました、同窓生を講師に迎えたキャリア教育社会人講話の講座が、今年も3月11日に開かれました。東北大震災の年は止む無く中止となりましたが、毎年さまざまなジャンルの方々が後輩へメッセージを送り続けています。先輩から、当時の学校の様子、日々の過ごし方、将来へ向けて高校生活でやっておいた方が良いことのアドバイス、現在の仕事の内容、それに必要な知識、その職業に就いたきっかけ、将来へ向けての選択肢はたくさんあるという事、どのように高校生の時代を過ごすか等々講師の方ご自身の経験から語っていただいています。仕事の面白さ、大変さ、やりがい、アプローチの仕方、一直線に進む道もあり、紆余曲折、あちこち曲がりくねった道もあり、挫折は時として力となり…さまざまな話の中から高校生は何を掴み取るでしょうか？

今年の社会人講話の講師の方とテーマをご紹介します。

原 征彦さん(高13期)「お茶の研究と開発に関わって」

田中 昇次さん(高13期)「クオリティ・マネジメント」

石田 智英さん(高18期)「映像ディレクターって？ 映画監督とは違うの？」

小山 恵一郎さん(高20期)「プロジェクトマネジメントについて」

外島 裕さん(高20期)「偶然の出会いを運命の出会いにする力」

大石 勲さん(高23期)「一冊の本を書く喜び」

木村 了さん(高25期)「理系に行くとなんて楽しいよ！楽しさと面白さと、職域」

牛田 聖子さん(高27期)「音楽療法という仕事」

植村 直人さん(高50期)「社会人になってからの夢」

川上 崇徳さん(高52期)「未来の車を提案・設計する仕事/技術開発の楽しさ」

真剣に講義を聴いている高校生、この社会人講話で耳にした様々なことばの一つが、ある時、彼の脳裏に鮮明によみがえり、将来への、人生へのジャンプのきっかけとなることがあれば…同窓生として嬉しい限りです。

ご自身の仕事について知って欲しい！ 或いは経験を伝えたい！と思われた方は、同封の総会返信ハガキにてご連絡ください。

中学3年生職業ワークショップにも参加

昨年度は中学校の職業ワークショップにも講師を派遣させていただきました。

テーマ別の5人の講師によるコースを二つ選んで聴講。その感想文から実際の教室をご想像下さい。



曾田 幸子さん(高25期)

★男女で格差のある職場などのことを聞きますが、消防士は男性と女性が同じ仕事をする知り、訓練や生活はとても大変だと思いますが、やりがいも大きくなるのではないかと思います。力の強さや体力は男性の方が勝りますが、女性は細やかな安全

意識などきめ細やかな部分で力を発揮すると聞き、確かに！と思いました。

★人との出会いを大切にしてほしい。という部分がとても印象に残っています。もうすぐ中学を卒業しますが、出会った人たちも、新たに出会う人たちも大切にしたいです。

★消防という仕事に詳しくなりました。女性の雇用機会が少ない中で消防という仕事を選びどれほど険しい道を通って署長になられたのか。「まず一度努力する」という言葉が印象的で、自分も結果だけではなくまず全力を尽くしてみようと思いました。

荒井 亮三さん(高12期)

★百貨店に勤めようと思ったのは人が好きだからとお聞きしました。中学生までは一人で遊ぶのが好きだった少年が、大泉高校でラグビーと関わってから人生が変わるほどに性格が「人好き」に変化していき驚きました。人を大切にする事の重要性も知りました。自分が出会った一人一人を大切にしていきたいです。

★人は自分次第でどのような風にもなれるということです。また、人生に無駄はなく、全ての経験や人との出会いが自分の糧になるという



事を忘れないようにしたいです。人のかかわりを大切にしてこれからの大泉生活を楽しみたい。



植村 直人さん(高50期)

★馬鹿になるというのは高い壁を超える積極性を身に着けることで、もし、それで失敗しても素直に謝って、次に失敗しないようにすればよいという事を教えてくださいました。

★「センスがない」「素質がない」「才能がない」と言われてもめげないことが大切だという言葉がありました。本当にその通りだと思います。人生は自分で選ぶことができるのであり、自分で選べるからには最後まで物事をやり通す人になりたいと思います。失敗することがあっても試行錯誤を繰り返してできるようにする。「できないことは最大の宝」この言葉を胸にこれからの人生を歩んでいこうと思います。

木村 了さん(高25期)

★道はいくらでもあるというお話、とくに「あみだくじのように」という表現がとても面白いです。逆境になんて負けれない、まだわからない。大きな勇気と未来への希望を頂いたと思います。自分の足を向け続けていけばいつかチャンスは訪れる。道順はたくさんある。今までの将来を考える講座の中には全くなかった観かたでした。「好き」という気持ちを持つパワーは何よりも強いのだという事を忘れず、勝てなくてもいいから向かい続ける勇気のある人になりたいと思います。



★将来のことを考えるのが楽しくなりました。今の仕事に至るまでに何度も予想通りにいかないことがあったそうです、資格を取るなどプラスに換えるところがすごいなと思いました。私は自分の計画が崩れてしまったら焦ってきつと諦めてしまいます。しかし今日、「常に目標の方を向いていればどんな想定外のことがあってもきつと辿り着ける」という事を教えていただいたのでどんな時でもあきらめずに頑張ろうと思いました。



蓮見 元子さん (高20期)

★「あれもこれも手を出して」挑戦していく姿勢は見習っていききたいと思います。あまり挑戦することが得意でないで少しでも興味を持ったら、とことん追求して行こうと思いました。それと、友達を大切にすることも心に残りました。高校になれば

200人の仲間がいるので仲良くしていきたいです。

★お話はとても興味深くて「心理学って面白そう!」と、心理学に対する考えが少し変わりました。また、やりたいことがすぐに決まらず選びたいことがいくつあっても「全部チャレンジしてみればいい!」

「失敗は怖がらなくてもいい!」と。前向きな考えを持てるようになりました。



中学講師の皆さま

中学職業ワークショップ感想文

講師 木村 了 (高25期)

このたびは、大泉中学校の職業ワークショップ講師を担任させていただいてありがとうございました。これまで他校で高校生を対象としたワークショップは何回か経験しておりますが、中学生は初めてなので少々勝手違いの戸惑いがありました。一方で母校の後輩と言う事で嬉しさも多分にありました。

さて、どのような話をすれば聞いてもらえるだろう? 自分の中学生の頃は何を考えていただろう? 今の中学生は何を考えているのだろう? などなど色々な考えが頭を巡りつつ、肝心な話の内容なども思いつかず「これはストレートに人生の先輩として思いつくことをお話しするしかない」という結論に達し、教壇に立たせていただきました。

技術屋としての半生、女性としての半生、技術職の面白さ、

人生の歩み方、目標の置き方、などなど成るべく中学生にも解ってもらえるように…と思いつつ話をしました。

ところが…なんの何の、私の思っている中学3年(つまり自分の中3の頃)よりはるかにしっかりと物事を考えて居るようで、人の話を真摯に受け止め、キチンとメモを取り、最後は高校生レベルの質問もされました。ビックリです。

既にこれからの人生をおぼろげながらも作り始めているようです。

多分、厳しい受験を潜り抜けてきた彼らは私が思うより遥かにしっかりした生徒達でした。頼もしい限りです。年齢が親子以上に離れている先輩の話ですがキラキラした目で聞いてくれたことが印象に残っています。

授業終了後、初めの心配は何処へやら…「私が思っているより日本の未来は明るいな!」という爽やかな気分で自転車を漕ぎながら高校時代と同じ道を辿って帰路に着きました。

初海外修学旅行事前講義より

中高一貫教育が始まり、その中学1期生は今年高校2年生になり、修学旅行は大泉としては初めての海外、シンガポールへ! そこで4月30日(水)、高田 勲さん(高13期)をお招きして、「シンガポール事情・成り立ちから今日迄」と題して2年生全員が事前講義を受けました。高田さんは、当時日本に大いに注目していたシンガポール政府の通産省観光局日本局長として長期にわたりご活躍され、今でも向こうでは「ハーフ・シンガポリアン」として知られています。

シンガポールについて、「国は安定し、著しい経済成長を成し遂げ、物価もついに日本並みになり、生活水準とその質は極めて高く、世界でも有数のインフラの整った住みやすい国」「人材こそ国家の財産という政策ゆえ、教育も非常に熱心で、水準はとても高いこと」などが話されました。アメリカのように多民族、多宗教、しかも人口が少ない国ではあるが、一致団結をして個々が努力を重ね、国のために働こう、良いものはどんどん取り入れて参考にしていこう、努力をす

れば報われる、という姿勢が国民に浸透している国です。第二次世界大戦中に3年半、日本軍の占領下に置かれたり、そんな環境の中であって、建国の父と言われたリー・クワン・ユー元首相は日本人の勤勉さを痛切に感じ、「日本人に学べ」という姿勢で歩んできた国です。英語を公用語とし、海外からの頭脳も取り入れ、人材重視、人材育成、他からの学びをする国に修学旅行に行く2年生のみなさん。どんな学びをして帰って来られるでしょうか? 成果が楽しみです。(編集部)



平成26年度 いずみ会夏期英語講座

感想

★短文で作る会話や自己紹介は意外に簡単で驚きました。短文でも話せるようになって、自分の英語に自信をつけていきたいです。★実際に日常生活で使うフレーズをたくさん知ることができました。★辞書をたくさん引くことが大切だということが印象に残りました。家に帰ったら、辞書のカバーを捨てようと思います(たくさん辞書を引くために)。★今まで習った英語だけでもこの小説が読めたので、英語は思っているより簡単で楽しいものなんだと思いました。★一つ一つの単語が難しくても、全体的に読んでいくと話のだいたいの内容が理解できて、すごいと思いました。★今までに習った文法で、私たちでもここまで理解できるんだと思い、嬉しかったです。★これからは電子辞書に頼らず、紙の辞書をつかって、(辞書を)かわいがりたいと思います。★先生のレッスンを受けて、自分の目標を見つけることができました。勉強も大切ですが、洋書を読んだり、洋楽を聴いたりと楽しんで学びたいと思います。★英語で話すときには、リズムや強弱が大切だと思いました。★印象に残ったのは、先生の外国での体験談です。やはり外国に行くと、いろいろな刺激を受けることができるのだと思いました。★僕が知っている単語だけでも英会話ができると分かり、自分に自信ができました。★通じ合うには、自分の意志を伝えることが大切であり、意志を伝えるには、文法の間違いなどを恐れず積極的に話すことが大切であると学びました。★「英語は音楽」という言葉が印象に残っています。★「怖がらずに心を開いて英語を話す」ということを学びました。★YesやPleaseなどの簡単な10個の言葉や5W1Hを知っているだけで、外国人と会話が成り立つということに驚きました。★先生のおかげで、リスニングさえできれば、簡単な英語だけで会話することができるようになりました。★「学ぶ」英語ではなく、「楽しむ」英語の授業、とても楽しかったです。★「分からない単語は聞き返す」ということが重要だと思いました。★洋楽を聴いて、英語を身に付けるという方法は、私もやってみようと思います。★今まで、英語はたくさん勉強しなければいけないという思いにとらわれていたけれど、先生から「英語は慣れるものだ」と聞いて安心しました。毎日ラジオなどで英語を聞いて、少しずつ慣れていきたいです。★「日本人も外国人も、人間は皆同じ」という言葉に感動しました。★ニックネームで呼び合ったりして楽しい授業でした。途中からは会話に夢中になって、英語の授業をしていることを忘れてしまいました。★英語はリズムとテンポが大切ということを学びました。緊張せずに、素早く返事・反応することが重要だと思います。★いつもは文法にとらわれすぎて上手く話せませんが、授業を通して、フレーズが自然にポンポン出てくるようになりました。★突然のゲスト(大串先生のお孫さん)に驚きました。同学年なのに、なんだか私たちよりも大人な感じだと思いました。これは広い世界をより多く知っている人と知らない人との差、なのだと思います。私も積極的に動けるよう頑張りたいです。★聞くこと、読むこと、書くことに加えて、話すことも大切だとわかりました。★たくさんの国に行ったり、外国で日本語を教えたり、外国文化に触れるには、自分から外へと積極的に飛び出していくことが必要なのだと思います。★私は英語が苦手はどう勉強すればよいのか考えていたので、先生から、毎日5分で5個の単語を覚えればよいのだと聞いて、試してみようと思いました。★英語は理科やそれ以外のところにも深く関係していることを実感したので、英語の勉強を頑張ろうと思いました。★英語が下手でも、自分の意思を相手に伝えることが大切だと学びました。★リスニングでは、難しい文でも、単語を少しずつ聞き取っていけば、大体的内容をつかむことができるということを学びました。★「吾輩は猫である」を英文にしたのが面白かったです。昔の文章なのに、今まで習った文法で表すことができたことに驚きました。今度は自分で、別の本も英訳してみたいと思います。★英語を学ぶだけではなく、英語圏の文化も知っておかなければならないことがわかりました。★接続詞で文をつなげれば、自分でも長い文章が作れるのだと分かって、嬉しかったです。★先生の授業を受けて、「外国ではいろいろな人に会う」ということが特に印象に残りました。★普段日本語で聞かれるような質問をされて、今までに教えてもらった言い回し、単語で答えることができました。細かく伝えようとしなくても、簡単な一言で質問に対して答えられました。★緊張している私たちに合わせて、ゲーム感覚で英語を使えるようにしてくださいだったので、楽しんで講座を受けることができました。★コミュニケーションに必要な「STEP(Smile, Thank you, Eye contact, Please)」をこれからも意識していきたいです。★みんなの前で発表したとき、先生に褒めていただいたのが、嬉しかったです。★全員と会話するレクリエーションでは、英語でたくさん話せてきて、時間があっという間に過ぎてしまいました。



中学会英語特別講座講師一覧

宇田川 公子さん(高8期)・岩片 卓雄さん(高12期)・大串 康夫さん(高14期)・
竹下 光彦さん(高15期)・石田 智秀さん(高18期)・福井 陽一さん(高20期)・
守本 純さん(高21期)・曾我 里美さん(高21期)・笹原 ひとみさん(高21期)・
福地 正さん(高21期)・松本 京子さん(高24期)・林 大介さん(高46期)

楽しんでいきます！サークル活動

秋には新サークル発足！

いずみ会のサークル活動がスタートしてから8年目を迎えます。古典文学講座、英語講座、まんぼ会、囲碁同好会、茶の湯、そして最初に開始された健康麻雀教室。それぞれ自立して活動を楽しんでいます。さらに今秋には「里山を歩こう・ハイキングクラブ」が発足の予定です。山歩きはベテランの石田要久さん(高5期)を中心に無理ないところから始めよう！と計画中。興味ある方は是非ご注目、ご参加ください。予定はホームページでもお知らせいたします。年に一度は親睦の意を込めて、連合して「ジャズの夕べ」を催し、今年も8月31日に練馬区役所地下1階のアトリウムにて盛大に催されました。ジャズといっても皆様に親しまれた懐かしい曲が世代を超えたバンドによって演奏されました。写真はその時の様子です。



歌とごちそうとお酒とおしゃべりで夏の一夜を楽しみました。

また、6月には各サークル代表が集まり「サークル連合」という名称を「サークル会」とあらため、会の代表にまんぼ会の大高光蔵さん(高13期)、副代表に二宮靖子さん(高8期)を選出。お互いに情報交換、連携を取りあい、更なる充実した活動を目指して行く事となりました。参加ご希望の方、いつでも参加できます。ご遠慮なくお問い合わせください。問い合わせ先は19ページにございます。また、新しいサークルの立ち上げをお考えの方、ご希望の方も是非ご一報を。(編集部)

護衛艦やまゆきに乗りました！ 源 恭子(高20期)

5月25日、まんぼ会で、新習志野駅からシャトルバスで、自衛隊の広報活動の一つ『マリンフェスタ・イン・船橋』会場へ。

今回のまんぼ会の目玉は、『海上自衛隊「護衛艦やまゆき」で横須賀まで乗船』。まず、会場内に停泊している引退した南極観測船「しらせ」に乗船し、アサリのカレーを食べた後、南極の水に触ったりして船内見学。自衛隊主催とあって、会場内には戦車やミサイルなども展示されている。迷彩服の防弾チョッキを試着した先輩は「重いよ〜」。護衛艦やまゆきの旗を掲示する所に鯉幟が…。可愛い、と思ったけれど、さすがに出航時には取り外されていました。

「しらせ」と「やまゆき」の両艦間で交される手旗信号の実演を見た後、急な階段を下りて船内の食堂へ。椅子がテーブルの下にある金具に引っ掛けるようになって、船が揺れても大丈夫なようになっており、湯呑みも壁に備え付けの筒状のところへ収納するようになっています。

係留していたロープをほどき、タグボート2隻に曳かれて舳先

を海へ向け、いよいよ出航。甲板上で準備していた隊員たちは敬礼後、帽子を振って岸壁で見送っている人たちに応えていました。乗船中は自由に艦内を見学して良いとのことで、見て回ると、甲板に設置されているミサイル(模擬弾)にサメのような顔が書いてあるのは、見学者へのサービス？短SAMシステムによる個艦防衛要領でミサイルの説明をしている案内板に「最高速度：結構速い(特定防衛秘密)、飛翔時間：まあまあ長い(特定防衛秘密)、最大射程：そこそこ飛ぶ(特定防衛秘密)」と書かれているのには笑ってしまいました。



艦載兵器を動かして見せてもらった後、ヘリコプター収納場所で海自ファッションショー。イケメンを揃えました」と言う通り、トムクルーズ張りの格好いい面々。正式の制服、潜水服、消火活動時の服装等々…。終了後には、一緒に写真を撮らせてもらった。あっという間に横須賀についてしまいました。

隊員の皆さんは、きちんとした気持ちの良い若者たちでしたが、彼らが役に立つような事態(戦争)が起こらないことを心から祈っています。

サークル活動 岡田 暁(高8期)

卒業5年後に東京都から横浜市に転居したものの、連絡せぬまま40数年間住所不明になっていましたが、偶然にも同じ大学に大泉の同級生がいて同窓会名簿から住所が判明し、その後いずみ会総会や高8期同期会の連絡を受けるようになりました。昨年3月から副都心線と東横線が相互直通運転をスタート、練馬・埼玉方面への移動が極めて便利になり、同級生有志の親睦会(ミニ3D会)にも参加して大いに盛り上がっています。

退職後自宅で現在も技術関係の翻訳をしていますが、仕事があると終日パソコンにとらめっこの生活になりがちなので、できるだけ1日1万歩以上を目標に歩くようにしています。そんな中「まんぼ会」の紹介を受け、5月の「マリンフェスタ2014」見学と「護衛艦・やまゆき」乗船に初めて参加しました。初参加ながら2度と無いような貴重な体験をさせてもらいました。

特に印象に残っているのは艦上でのファッションショーでイケメンNo.1による士官の正装、弱冠19歳のセーラー服の水兵姿。思わず子供の頃口ずさんだ歌が浮かんできました。「若い血潮の子科練の七つボタンは桜に錨…」とこの年になっても正直カッコいいと思ったくらいです。ちなみに7月1日付産経新聞のコラムによると、海上自衛隊横須賀基地で毎年行われる婚活パーティーでは定員100人に対して、女性の申し込みは10倍を超えるほど自衛官はモテモテだそうです。

最近日本近海での他国による領海侵犯などを耳にするにつけ、万一の武力による侵略に対しては憲法に則り、自衛隊は断固祖国防衛の任務を果たしてくれるものと信じています。最後に「まんぼ会」に希望することは、時間と状況が許せば自然や歴史散策などのメニューも盛り込んでほしいと思います。

ラグビー仲間 中澤 弘生 (高8期)

私は1953年大泉高校の入学式の日ラグビー部に入学して、今日までラグビーを愛し続けている。学芸大学大泉附属中学の時、戦後最初に来日したオックスフォード戦を中学の同級生と秩父宮ラグビー場で観戦した。オックスフォードの小さなスクラムハーフが大男に混じって大活躍をした。ルールも得点方法も知らなかったが、体じゅうに電流が走るような感動を覚えた。大男のスポーツと思っていたラグビーがチビの自分にもできると。一緒に観戦した仲間と進学した高校は異なる仲間もいたが、高校でラグビーをやろうと決め、5人が大泉高校に進学してラグビー部に入学した。

大泉高校ラグビー部は1946年創部、都立高校で最初の創部である。1949年に東京都予選で優勝して関東大会で高崎高校に惜敗し、全国大会出場を逃したのが最高の成績である。入学したときは日比野弘(日本ラグビー協会名誉会長 6期)さんが主将で、その後数年は、東京予選で準決勝までは行く強豪校ではあったが花園出場の経験はない。しかし6期から9期まで沢山の大泉高校出身者が関東大学リーグで活躍した。早稲田 日比野弘(6期) 慶応 豊嶋志朗(6期) 角張洋二(飯沢) 真野喜興(8期) 立教 貴志隆男(7期) 東京教育(現筑波) 橋本力(7期) 青学 松本英夫 藤井元孝 中澤弘生(8期) 松村先 松井公行(9期)(敬称略)と合計11名が秩父宮を走っていた。花園出場経験のない幻の名門校であった。11名の内5名が最も重要なポジションの一つで、スクラムの要、ゼッケン1番、左のプロップである。今年立教で活躍した山田龍之介さんがNECに入社した。大泉高校出身の初



のトップリーガー誕生が楽しみである。ラグビーをして良かったことは沢山あるが、最も良かったことは良い仲間ができたこと。これはラグビー仲間共通の考えである。

私は大泉高校、青学、名古屋クラブとラグビーを続けたが、青学時代の同期仲間の佐藤惇君が2011年の東北大地震で被災した。彼は1959年主将(1960年卒)石巻高校出身で1年生からウイングでレギュラーとして活躍した。当時彼の消息は不明で、家業の旅館は津波で全壊したが、彼は石巻市内の仮設住宅で無事一人暮らしをしていたことがわかった。

同期が中心となり、一緒に練習をした前後7年間の仲間に募金活動呼びかけた。40数万円が集まり、2012年3月30日同期の3人で石巻の仮設住宅を訪ねた。仮設住宅の中から、まだ顔を合わす前に、(中澤ひさしぶりだな)と彼は叫んだ。50年の年月はないが如く、昔話、ラグビーの思い出ばかり、あっという間の再会数時間であった。

私は昨年6月アキレス腱を断裂をし、70日間松葉杖、ギプス生活を過ごした。その間ラグビー仲間、同級生、ジムの仲間など沢山の仲間の助けを受けた。仲間の大切さを痛感したとき佐藤惇君のことが頭からはなれない。

大泉高校は中高一貫校となり人工芝のグラウンドも完成した。中学、高校と良いグラウンドでラグビーを楽しめる環境がある。沢山の後輩達がラグビーを楽しみ、良い生涯の仲間を作ってくれることを願っている。

私の青春時代 富永 静雄 (中1期)

昭和16年(1941年)鷺宮で府立二十中、府立二十一中、府立十八高女、第五商業学校が同時に仮校舎で開校した。駅から20分も離れた所であった。1年後本校舎が完成し、現在の大泉に移転し校名も都立大泉中学校に変更された。辺りは大根畑。武蔵野鉄道の脇に校舎が一つ建つのみであった。然しこの年、大東亜戦争が開始され、戦時色に一変した。勉学もそこそこ、戦争準備に明け暮れる日々であった。19年になると戦局は次第に悪化し、ついには学徒まで学問半ばで軍需工場に動員された。動員先の中島飛行機工場では、夜間爆撃の空襲警報が鳴るや直ちに素掘りの防空壕に避難し、敵機が去ると再度職場に復帰し作業を続けた。夜が明けてみると辺りは空爆の後に死体が累々と残され、次の夜はその脇を通って通常通り作業につく、その繰り返しであった。3月卒業の頃工場は廃墟となっていた。3月東京大空襲の際は次の動員先の工場(小平)から自宅まで徒歩で焼け跡の、かつてと同じ悲惨な状況の中を帰宅したことが鮮明に思い出される。

私の青春時代は(中学時代)戦争に始まり、戦争で終わった。日本史に残る千載一遇の機会に立ち会えたことは、ある意味では幸運であったかもしれない。

思えば昭和20年3月動員先の工場で卒業証書一枚を渡されて焦土と化した東京に放り出された。茫然自失しているうちに敗戦。前途になんの希望も失ってしながら翌年進学していた。あの時も少し考えていたらまた違った人生が送れていたかもしれない。今更悔いても始まらない。その後は波乱万丈の道歩んで85歳の今日を迎えたが誰も怨んではいない。ただ過ぎ去りし青春を振り返って感慨に耽るのみ。(会報57号春日さん懐古談を読んで当時を振り返られお手紙を下さいました。その一部を掲載させていただきます・編集部)

投稿写真

戦争が終わって、今まで閉じ込められていたエネルギーが一気に解放され、先輩たちは次々にクラブ活動を始動させました。サッカー、野球、バレーボール、ラグビー、演劇、テニス、バスケットなどなど。写真は授業風景とラグビー部です。高1期 深津 正鉄さんから拝借いたしました。



会員の集い



甲子園で校歌を

野球部OB会会長 高15期 久保田繁

3月16日に新グラウンドで野球部OBが集まり現役の学生諸氏と晴天の中でゲームを楽しんだ。都立高校で初めての人工芝グラウンドには多くの規制があり、スパイクは金属以外のもの、水以外の飲料水はダメとあり、運動靴に履き替えたものである。人工芝の良さは何となく理解できるがほとんどの球場は土グラウンドのためスパイクでの走り込み、守備練習が不足になるのではと一寸心配になる。四月から新監督として就任された齋藤恭兵先生には基礎体力を作る練習が大変なことと思われる。夏の大会予選は残念ながら惜敗しましたが、我々OBは甲子園で校歌をと応援しています。中高一貫教育となり部員を集めることが大変と思いますが是非秋の大会に向けての夏合宿では一丸となり頑張りたいと思っています。



クール、九段中等教育学校、小石川中等教育学校、板橋有徳高校の現役生徒を含め約260名の参加で盛大な催しとなりました。試合終了後、生徒たちはラグビー部保護者の方々の多大な協力による手作りの「豚汁」に舌鼓を打ち、OBは場所を区立勤労福祉会館に移して練馬ラグビースクール指導者、小石川高校OB、応援に駆け付けて頂いた友好関係にある秋田高校OBの方々とアフターマッチファンクション（懇親会）でラグビー談議に花を咲かせました。



日比野名誉会長のご挨拶

ラグビー部は平成28年に創部70周年を迎えます。この日が創部70周年に向けての土台になることを期待するとともに、伝統あるラグビー部の現役、OBの強い絆を感じた一日でもありました。



現役・OBとの記念撮影
向かって左から25期大須賀、中央19期森田氏、15期石川氏
レフェリーは下井真介氏石神井高校OB（現東京都ラグビーフットボール協会）

ラグビー部OB会 新グラウンド完成記念こけら落とし

OB幹事会 大須賀 誠（高25期）

平成25年12月28日（土）肌寒いながら晴天の中、都立高校では初めて人工芝化した新グラウンド完成記念の「こけら落とし」が行われました。

行事はOB会初代会長で日本ラグビーフットボール協会名誉会長でもある日比野弘氏（高6期）、大泉高校菊地芳男校長（当時）のご挨拶に続き高校生・中学生・OBの招待試合が行われました。当日の参加者はOBは高校6期から高校65期までの約80名、高校生・中学生の保護者約50名の他、招待試合で対戦していただいた地元練馬ラグビース

男子バレーボール部OB会

2013年12月1日・母校体育館・60名・懇親会82名

現在は部の活動が消滅してしまった男子バレーボール部。期よっての会合は時々あったが、初代から最終期までの部員に声をかけて一堂に会するのは昭和58年以来のこと。今回をきっかけに『男子バレーボールOB会』を正式に立ち上げようと12月1日に母校体育館に集合しました。立ち上げには高13期丸山さん、田中さん、高20期の尾崎さんらが中心となり母校現女子バレーボール部の顧問鈴木先生にもご協力を頂いて、OB達の連絡名簿を完成させ今回の集いとなりました。鈴木先生と60期台の卒業生が、本格的なバレーコート1面と、ネットの少し低いコート1面を用意してくださり、ネットを背に元バレーボール部が並びます。体育館には寒さとは別の身の引き締まるあの試合前の引き締まった感じが漂います。創設メンバーの中3期島崎さんのあいさつの後、若

♪ 貴方も一緒に歌いませんか ♪

大泉高校OB・OG合唱団

- 練習 月2回 金18:00～20:00
- 会費 月1,000円位
- 場所 勤労福祉会館（大泉）

連絡先 大野和美（高7期）

Fax・電話 04-2990-2330

メールアドレス qzb12356@nifty.com.



たかのクリニック

内科・循環器内科

院長 高野 治人
副院長 高野 尚志（高13期）
事務長 伊東 よりこ（高44期）

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
15:00～18:30	○	◎	○	○	○	○

日曜祝日は休診日 ◎は副院長診察時間

TEL: 03-3990-2222 FAX: 03-3990-2237 西武池袋線
http://takano-cl.com info@takano-cl.com 富士見台より徒歩5分



者組と壮年組に分かれてゲームに興じます。さすが卒業して間もない若者組は迫力満点！もちろん壮年組も「無理するなよ」との掛け声しきりに、昔を思い出してブロックにアタックに頑張っていました。息を切らして交代したOBは「久しぶりにボールに触った。もっと動けるとおもったんだけど…」1時間程ゲームを楽しんだ後、会場を移して懇親会。それぞれに昔を懐かしみ、バレーボールOB会の復活？を意義に感じ、次の会合を約束して立ち上げの会は無事終了しました。(編集部)



期荒賀康徳氏、そして、もう一人忘れてならないのは、実際には臨海を知らない世代である高54期播磨(旧姓中村)南さん。彼女との不思議な縁(小文では簡単には説明できないくらい奇跡的出会いの連続です!)がなければ、こうした会を開くこともなかっただろう。当夜、彼女には“名誉助教”という称号が授与され、晴れて異能集団の一員になられた次第。播磨さん、どうもありがとう!!



中高
3 1
期 期

中3期・高1期同期会

中3期 鱧川 省三

私たちは旧制中学校3期生卒、大泉高校1期卒の同期生です。昭和18年に旧制大泉中学校に入学、当時は250名いた同級生が戦時疎開で約半数の生徒が地方に移住転校し、終戦後も復学しなかったため、卒業したのは127名となりました。うち約半数は昭和23年に旧制中学の3期生として、残りは翌24年に新制高校1期生として卒業したものです。

戦時中はスパルタ教育で、小さな体に銃を持たされ、鉄拳制裁は日常のこと。まるで軍隊のような日々を過ごし、それは厳しいものでした。しかも当時は極度の食糧難でしたので日々空腹に見舞われ、飢餓の苦しみを嫌という程味わいました。また、20年の春頃からは、米軍の空爆が激しくなり、校庭に防空壕を掘らされ、また、自宅が近い生徒は防空隊と称し学校に寝泊まりを命じられて校舎の守りに付いたものです。4月12日に校庭に1トン爆弾が2発投下され、内1発が破裂し(他の1発は不発弾で戦後回収されました。)直径20メートル位の穴があき、その穴埋めは総て生徒の手で行われました。生命の危険、飢餓に苦しみながらも生徒は強い絆

助教会

高29期 大久保 靖

高校1年生全員を対象として、おもに千葉県富浦で臨海学校が実施されていたのは、昭和38年～平成5年の31年間。この間、実技指導の助手として臨海に参加した“助教”は約370名に及ぶ。「幅広い年齢とさまざまな個性と能力の持ち主たちで構成された一種の異能集団」(高16期小林知雄氏による定義)は、臨海がなくなってすでに20年になろうというのに、未だ臨海の夢冷めやらず、その結束はますます強固なものになるばかり。2014年2月22日には、東京一橋の学士会館に14期から34期(ということは全員50代以上のロートルです)の57名の仲間が集まり久闊を叙すこと数刻に及んだ。

2007年以來の今回の助教同窓会を仕切った中心人物は27

中本総合法律事務所

代表 弁護士 中本 攻 (高13期)

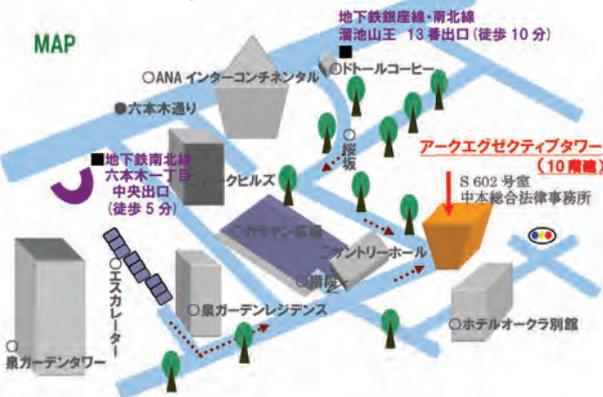
住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5
アークエグゼクティブタワー S602号室

代表 電話：03 (3568) 7600

ファックス：03 (3568) 0891

E - m a i l : osamu.nakamoto@lonkmt.com

U R L : http://lonkmt.com/



東北大震災

風化させないために
わたしたちは!



高木自動車代表取締役 高木登茂子 (高14期)

〒353-0001 埼玉県志木市 TEL. 048-473-0039

で結ばれていました。終戦後は教育方針が180度転換し、民主主義教育一色となり、野球、サッカー、バレーボール、バスケット、ラグビー、それに演劇部が作られ、生徒は夫々好きな部活を楽しみ、青春を満喫したものでした。

同期の仲間は、平成15年以降毎年11月に同期会を実施し、これまでに10回と回を重ねてきましたが、年齢83歳の老齢の身となり、続行は難しくなっています。昨年は、11月9日に大泉学園駅近くの勤労福祉会館内の「味三昧」に集まり、正午から会食し、昔話とビールに陶然となり、その後午後3時に母校を訪ね、事務長さんの案内で校舎をくまなく見学し、その立派さに一驚しました。参加者は14人でした。この写真は、会食後に店の前で撮影したものです。



高16期 卒業50周年の同期会 高16期 大場 修一

我が高16期(くぬぎ会)は、東京オリンピックが開催された1964年に卒業し、今年50年となります。前回は還暦記念でしたが、そろそろ同期会をとの声が高まり、昨年4組の鈴木幹事長の急逝を受けて幹事全員が業務を分担し、準備を重ね、7月6日に池袋の東武バンケットホールでの開催にこぎつけました。

当日は尾造保高先生をはじめ102名が参集。和やかに会は進行して、卒業アルバムから物故者(33名)をしのび、母校の最近の様子を展示し、卒業以来の歳月に感無量でした。

高17期 高17期同期会 開催報告 高17期 奥澤 泰一

5月31日(土)東京帝国ホテルの地下1階「三田倶楽部」で、17期同期会が開催されました。

恩師中村先生からご挨拶をいただきましたが、先生の矍

鑠としたお姿に、元気とパワーを授かりました。

最初に、卒業アルバムに添付されていたソノシート製の恩師の肉声を聞いて、しばし青春時代にタイムスリップしました。

その後、大泉高校の今昔画像を、大スクリーンに放映しました。旧校舎等、グラウンド、榛名の寮、大泉学園駅舎、当時のボンネットバス、運動会、ファイアーストーム、文化祭、東京オリンピックなど、懐かしい写真が紹介され、その都度、歓声が上がりました。また、新校舎、桜並木、新グラウンド、改装後の大泉学園駅等の写真を見て、改めて半世紀の月日の経過を痛感しました。

懇談の後、5人の方から、「思い出の裏話・苦労話」の紹介があったが、全員5分の制限時間を大幅に超過する熱弁でした。

「校友の歌」を最後に、来年の再開を誓って、お開きとなりました。



高21期 1次会、2次会、同一会場で一気に通貫 高21期 植村 久

高校21期の第13回同期会を開催しました。

2013年11月9日(土)1630よりライオン新宿センタービル店で、約110人の参加で挙行了しました。

約20人の「幹事団」体制で運営するという方法もすっかり軌道に乗り、準備段階からすでにミニ同期会の雰囲気です。

はやばやと複数の会場の下見を2013年2月に実施し、じっくり検討して選定しました。

当日は、恩師萩野先生と田上先生とお迎えし、同期の有名な池上彰くんも顔を見せ、同期のみんなでもりあがったのはいうまでもありません。

会場レイアウトは、卒業時のクラスごとのテーブルとしたので、迷うことなく話の輪ができました。

2次会も、会場移動せず、テーブルの配置を変えてそのままみきつづきライオンで実施しました。時間のロスがなく、

カンザキ建設 — 本物素材 『無垢の木と漆喰の建築』 — **HiNOX**
▼本社モデルハウス

現在23版 ベストセラー
(基本編)
ダイヤモンド社刊

現在10版 ベストセラー 続編
(実証編)
ダイヤモンド社刊

基本編の文庫本
(文庫本)
文藝春秋刊

本社モデルハウス 内覧会のご案内
年中無休
 (年末・年始 お盆を除く)
AM10:00~PM6:00
 どうぞ、お気軽に遊びにいらして下さい。
 〒167-0035 東京都杉並区今川3-20-5
 ●資料のご請求はお気軽に。

全国の図書館、および有名書店に有ります。神崎隆洋 著(一級建築士 代表取締役)
神崎建設株式会社 03-3397-1150 www.hinox.net

疲れることもなく、「同一会場」は好評でした。

われわれの年代はIT化のはざまなので、デジタルデバイドをなくすように配慮しながら、できるだけIT化を進めるのが万事好都合という判断で、事前の連絡等はemail活用、案内状は郵送、実施後はwebで写真配信、アンケート回収などを試んでいます。

今回の開催は、多くの同期会員がいわゆる「高齢者」に突入する、2015年11月ころを予定しています。お楽しみに。

御連絡、問い合わせ等は、幹事団事務局長の岩城隆就くんまで。

「taka@silvervilla.com」



[大崎ゲートシティ イタリアンレストラン「トレスカリーニ」にて]

高26期

懐かしの顔、顔、顔、高校26期同期会

高26期 岡田 重信

高校26期の同期会は、まるで夏が戻ってきたように暑い10月12日(土)に、91名(男子63名、女子28名)の懐かしい顔ぶれと、田上、関両先生をお迎えして開催された。

入口では復興支援のボランティアをされている関先生が、文字通り関所のごとく陣取り「花は咲く」のCDへの募金を呼びかけ浄財を募るところからスタート(誰だ、押し売りとかつぶやいたのは!)

その後酒がまわる前にと全員で集合写真を撮り、これまでの同期会で皆の写真を撮り続けてくれた上原君制作のスライドショーを鑑賞。今回一番盛り上がったのが、3年1組から順に9組まで各クラスごとの撮影大会。

これに味を占め1年も2年もとりクエストが殺到し、会場側と時間の都合を相談していたところ、同期松尾総支配人の鶴の一声で延長決定。当時のクラスがわからなくなっている人が紛れ込んだり、ワイワイガヤガヤそれは楽しく賑やかな時間を過ごすことが出来た。

高24期 還暦の同期会

平成26年6月28日(土) 高24期 真柳 仁

10年前の前の同期会のときに「還暦の年には必ず再会しよう!」と誓い合った高24期は昨年各クラス幹事を中心に準備を進め、6月28日、大崎ゲートシティのお洒落なイタリアンレストランに総勢93名が集いました。北海道や四国から参加してくれた仲間もいます。何よりも旧交を温めることが一番でしたが、そんな中1つアトラクションがありました。同期の玉利恭子さんによるミニコンサートです。ピアニストとして活躍されていた玉利さんは、薬の副作用が原因で脳炎を発症し、記憶を失いました。ご主人(桂さん、同窓生高22期の先輩)の献身的な介護と恭子さんご自身のご努力、リハビリレッスンの先生の情熱により実現しました。当日は恭子さん、ご主人、先生による連弾で「アヴェ・マリア」等をご主人が再生した「ピアノ・ダモレ」で演奏しました。恭子さんの記憶の回復のきっかけになってくれればとの思いがあります。最後には全員で、校歌と校友の歌を歌い、お開きとなりました。(それでも、話したりない人が多く、同じビルの居酒屋で二次会を行いました。62名が残り閉店まで話し続けたのは言うまでもありません。)



吉祥寺第一ホテル「天平の間」にて



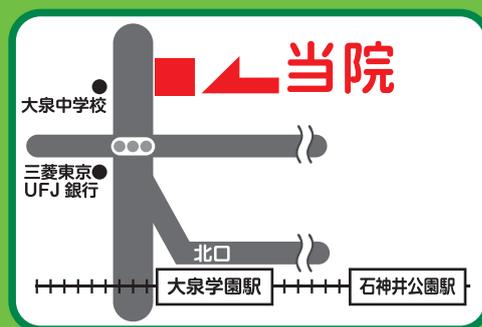
産科・婦人科・不妊相談

救急指定
母体保護法指定
医療法人社団

久保田産婦人科病院

小児科(月・水・金)PM2:00~3:30 大泉学園駅北口徒歩5分

TEL 03-3922-0262 <http://kubota-hosp.jp/>



名残を惜しみながら校友の歌を皆で合唱し、次回の還暦祝い同期会での再会を約束し、それぞれ2次会が待つ夜の街へと流れて行きました。

高28期 **次回は還暦祝いかな?** 高28期 野島 陽子

昨年9月7日、池袋東武百貨店のバンケットホールで、第4回同期会を開催いたしました。参加者は107名、そして5人の恩師にもご出席いただくことができました。

今回は、母校新校舎見学会企画付き。参加できなかったメンバーの為に同期会での写真撮影もありました。歓談、そして「28期 花の応援団」による恒例の校友の歌が披露され、大喝采の中お開きとなりました。二次会「北海道」での参加者も100名を超え、そのまま興奮は冷めやらず、三次会にも突入。

皆の笑顔と弾む会話は尽きることなく、卒業以来約40年ぶりの初参加の人も、「思い切って参加して良かった」「高校時代の友達は最高だ」と喜んでいました。

「大泉高校28期」のホームページより当日の様子をご覧ください。次回は還暦祝いかな? 同期のみなさんお楽しみに。



高44期 **初めての同期会** 高44期 金内 浩之

2013年11月30日、東京の第一イン池袋ホテルにて大泉高校第44期の同期会を開催しました。44期では卒業後、初めて開催した同期会ということもあって、4人の先生方も含めた延べ100人近い人が参加しました。

当日はお忙しい中、杉山先生、高林先生、佐藤克子先生、佐藤哲司先生が駆けつけて下さいました。どの先生もとてもお元気そうで、仕事に興味にと変わらずに活躍されている近況をお聞きすることができました。参加した卒業生の中には21年ぶりに再会する人も多かったのですが、いざ話し始めるとあっという間に高校時代の仲間に戻ることができ、あちこちで昔話に花が咲きました。時間の関係で一人ひとりの近況を聞くことはできなかったのですが、海外で活躍している人、会社を設立した人、家族が増えた人など、それぞれが様々な人生を積み重ねて来たことがうかがわれました。

途中に設けられた、参加いただけなかった矢野先生、原先生、沢辺先生などからのメッセージを紹介する時間では、懐かしい大泉高校時代が思い出され、皆でしみじみとしました。

最後に、先生方への花束贈呈と記念写真撮影を行い、盛況なうちに会はお開きになりました。



西武池袋線「練馬駅」北口下車3分

鈴木クリニック

○内科 ○小児科 ○呼吸器内科 ○消化器内科

都立大泉高校内科校医 **鈴木次夫** (高16期)

〒176-0001 東京都練馬区練馬1-27-1
TEL. 03-3991-1581

小児歯科/矯正歯科/歯科一般

上原歯科医院

日本歯科大学附属病院 臨床教授/小児歯科専門医

歯学博士 **上原正美** (高26期)

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6-16-17-2階
(練馬区役所西庁舎南入口正面)
TEL. 03-3557-1180 <http://www.uehara-shikaiin.com/>

和竿 作ります どの竿も 38,000円

外房・フグ竿 (上:丸節竹, 下:布袋竹)

釣り場・釣り方をお聞きし貴君の手に合った竿を作ります。一級の素材を使った本漆仕上げです。アフターケアもお任せください。キス、カワハギ、メバル、コチ、アジ、フグ、イサキ、タイ、ヒラメ、ヤリイカなど海の船竿一般

上主和孝 (高21期) 〒182-0026 調布市小島町1-4-6
TEL & FAX 042-487-9572

売買代金・請負代金等の金銭問題/交通事故等の損害賠償/不動産取引・登記・借地・借家等不動産/相続・親族問題/破産申立等倒産処理/その他民事一般

宇多法律事務所

弁護士 **宇多正行** (高25期)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町261番地 トリオタワーノース5階
TEL. 03-6675-3184 FAX. 03-6675-9552
E-mail att-uda@eos.ocn.ne.jp

同期会のお知らせ

高8期 同期会のお知らせ

日時：平成26年10月6日(月) 16:00～18:30
 場所：ダイヤモンドホール
 会費：8,000円
 連絡先：茂木090-8801-9896
 宇田川090-5539-5338

高9期 同期会のお知らせ

次回の同期会は次の通り行う予定です。平成27年5月12日(火)午後1時～3時半。池袋東武デパート内バンケットホールにて。皆様には来年1月中には詳細をご案内します。青春の記憶をよみがえらせ若返りましょう。おさそいあわせの上、奮ってご出席ください。同期会幹事一同

高12期(昭和35年卒)同期会を開催します

いつもの10月12日(日)午後4時半から
 いつもの「中野サンプラザ」で

平成19年から毎年同期会を開催しています。何時まで続けられるか挑戦しています。今年もいつもの10月12日に同期会を開催します。今年の日曜日です、新しい人が出席してくれるのではないかと期待しています。会場もいつものJR中野駅前「中野サンプラザ」です。

昨年は恩師3人をふくめ約40名、残念ながら前年より少し減りました。パーティでの特別なイベントはありません。米寿を迎える畑野先生のお元氣さには脱帽でした。永嶋先生からは毎年楽しみにしていると励まされました。高速道路の渋滞で散会寸前に会場にお越しになった土屋先生からはお説教「お月様のうさぎ」を伺いました。二次会は、そのままの会場で「ダーツ」をやってみました。初めての方が殆どでしたが、点数を争うとなればそれなりに盛り上がるものですね。簡単に結構楽しめました。

当時を懐かしがったり、残念がったり、疑念が解けたり、ようやく当時の面影が浮かんできたり、最後まで思い出せなかったり…。少しお酒を飲んで、お料理をつまんで、昔話に花を咲かせて、ただそれだけの集まりです。二次会は今年もダーツをやりませう。

下の写真は、昨年の同期会の写真です。おぼろげな記憶で歌った「校歌」と出席者全員の集合写真です。

開催は別途往復はがきで案内します。会費は7,000円です、昨年より1,000円の値上げになっています、すいません。

(幹事：板橋042-468-1563 ita-aki@jcom.home.ne.jp)



高14期 同期会のお知らせ

平成26年10月14日(火) 14時～

今年も例年通り14期同期会をいつもの日時:10月14日(火)14時からいつもの会場:第一イン池袋2Fレストラン「ピノ」で行います。今年もスライドショー、フォークダンス、歌を歌ったりで楽しく過ごしましょう。ご案内は別途お送りしていますが、今からでも間に合います。是非ご参加ください。写真は2013(昨年)古稀のお祝いの会

幹事 大串 康夫:携帯090-9830-6711

e-mail: ohkushi@ninus.con.ne.jp



高15期 同期会のお知らせ

今年の同期会は下記の予定で実施致します。

日時：11月22日(土) 14:00-16:30

場所：パセラリゾーツ新宿(新宿区役所隣)

会費：10,000円(夫婦同伴15,000円)

今年までに多くのかたが、古稀を迎えました。みなさんと一緒に祝いましょう。

また当日は「良い夫婦の日」ですので、1次会はみんなで、2次会はお二人で祝うのも一興かと思います。

今回は、予告です。10月に入ってから改めて出欠をお伺いしますので、スケジュールの調整を伏してお願いたします。

十五期幹事一同

高38期(昭和42年～43年生まれ)同期会のお知らせ

平成26年11月1日(土)

一次会：午後5時受付開始。開会午後5時半～7時半。ホテルローズガーデン新宿 2階レストランチャオにて、立食形式。

会費：¥5500～6500(当日徴収：参加人数で変動しますので小銭のご用意をお願いします)

新宿区西新宿8-1-3(新宿駅西口徒歩10分、丸の内線西新宿駅歩1分)

<http://www.hotel-rosegarden.jp/>

二次会：土風炉(とふろ)西新宿7丁目店。開会午後8時半予定。(ホテルローズガーデンから5軒新宿寄りのビル。北陸銀行地下)

会費：¥2500(当日徴収：二次会からの参加も歓迎します)当日は大泉の生徒らしくカジュアルにて、お越し下さい。

寄付・広告提供者一覧(敬称略・平成25年度納入分)

昨年度も多くの皆様と同窓会会費、寄付及び広告をご提供頂き、誠にありがとうございました。今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。今回お名前を掲載しましたのは、次の方々です。

①寄付者：平成25年度4月1日から平成26年3月31日までに寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた金額は寄付として扱わせて頂きました)。

②広告提供者：会報いずみ第58号に広告を掲載して頂いた方。

■会費納入のきまりは、

①高校卒業後7年を経過した年度(※)から、満70歳を迎える年までで、今年度は高校56期の方から高校15期の方までが会費納入対象者です。(※平成26年度、27年度は経過措置あり)

②会費は年千円ですが、過去の未納会費には遡及しません。今年度分から頂きます。複数年分の納入をお勧めします。

■いずみ会を維持・発展させるためには、どうしても資金を必要とします。今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願ひ致します。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。

会計部長 山口達夫(高20期)

e-mail: izumikai@v7.com

寄付者一覧(寄付額千円単位)

【中01】稲見 忠典(2)、春日 孟(2)、栗山 慶郎(2)、畑井 富造(5)、羽鳥 忠男(1)、樋田 並照(1)、藤井 宏(2) 【中02】佐藤 幸司(5)、中川 邦好(2) 【中03】秋本 忠(20)、本橋 長(5) 【高01】服部 宏(5) 【高02】中井 嘉文(10)、足立 猛(5)、清水 靖夫(5) 【高03】猪郷 久義(5)、大滝 忠昭(3)、小川 陽弘(1)、戸栗 愛(100)、中西 和夫(1)、溝口 皖司(5) 【高04】井内 俊夫(5)、鈴木 恒雄(1)、林利根(2)、比嘉 高(5)、安井 昇(1)、吉澤 修(1) 【高05】石田 要久(2)、井上 敬(3)、梅沢 正(1)、大澤 登(1)、桶田 敏正(3)、乙葉 啓一(1)、小林 昭夫(1)、斉藤 毅(1)、芝山 秀太郎(1)、周藤 晃(1)、高遠 宏(1)、高橋 文朗(1)、中原 鉄治(3)、中原 久雄(2)、藤井 喜康(1)、松岡 五郎(5)、市川 悦子(5)、大木 紀子(2)、大橋 陽子(1)、榊原 京子(1)、石原 須美子(1)、飯田 深雪(10)、鴨 恵子(5)、玉井 さつき(2)、諏訪 優子(2)、鎗田 恵美(2) 【高06】有田 二郎(10)、石井 岱三(10)、大沢 輝夫(2)、太田 毅(2)、女屋 敏正(2)、鴨田 博伸(2)、佐野 弘太郎(1)、菅生 裕(1)、土屋 雅春(2)、永井 満(1)、浜野 章保(2)、原田 清(1)、日比野 弘(3)、柚原 修(1)、矢島 十三子(1)、須和 緑(2)、石坂 道子(3)、小出 淑子(5)、岩瀬 敦子(5) 【高07】寺本 殷昌(1)、岡野 朝子(1)、岩本 英子(3)、辰巳 益子(1)、三平 千代子(5)、深町 玲子(8) 【高08】浅野 稠子(10)、岡本 正義(5)、土屋 美弥子(2)、二宮 靖子(5)、小川 洋子(5)、宇田川 公子(8)、阿彦 靖

子(5)、角田 富美代(3)、杉浦 五十鈴(2) 【高09】須藤 一彦(10)、矢花 昌子(2)、古山 宏(3)、鎌倉 悦子(1)、柚原 美智子(1)、鈴木 美香子(3)、遠山 睿(2)、山下 泰子(5) 【高10】阿部 基子(2)、織田 和子(10)、寺崎 由紀子(3)、金沢 健蔵(3)、中村 寿男(10)、田島 寛(5)、本橋 達朗(10)、藤森 とし子(5)、田所 満一(1) 【高11】柴田 紀江(3)、山上 祥子(5)、内田 清子(2)、生田目 常義(30)、匿名(5)、高木 聡行(2) 【高12】阪本 桂造(5)、中沢 勲(3)、牧 知義(10)、斉藤 浩(1)、塩田 順康(3) 【高13】安達 宏鎮(3)、早川 淳(20)、小林 鉄治(5)、後藤 嘉昭(2)、関 直樹(10)、田中 昇次(3)、中本 攻(30)、竹内 洋重(5)、小松 富貴子(3)、国澤 栄子(3)、寺島 彰由(10)、風祭 一枝(3)、高津 幸一(30)、星野 直子(5)、佐藤 克子(5) 【高14】布施 百合子(3)、高木 登茂子(10)、岡部 好秀(1)、國谷 俊之(10)、福田 宏子(10)、奥山 朋哉(2)、藤富 正毅(1) 【高15】谷内 成之(1)、渡辺 浩通(1)、水島 磐男(5)、幸治 典子(1)、杉山 武彦(10)、小川 忍(2) 【高16】橋元 宏(3)、串道 昭(7)、飯島 信枝(10) 【高17】大津 徳明(10)、堀江 悠子(10) 【高18】寺島 孝(10)、小野 道子(5)、安原 淳子(3)、芝 穎司(5)、森本 邦明(1)、青木 隆(10) 【高19】男庭 泰雄(1)、石塚 久仁世(5)、国貞 明良(2)、安藤 加代子(4) 【高20】木村 祐子(2)、柿沢 寛子(10)、手崎 園子(3)、福原 正和(1)、三上 恵只(10)、山口 達夫(5)、鈴木 豊(3)、森田 孝博(8)、坂路 孝夫(3)、湊 伸一(3)、渡辺 順子(4) 【高21】鈴木 治子(2)、内田 涼子(12)、塩路 信二郎(2) 【高22】中村 直登(1)、阿野 和隆(5)、山之内 裕(8)、三田 麻知子(1)、関谷 待子(1)、横川 玲子(1)、斎藤 正義(20) 【高23】石橋 直彦(5)、高橋 敏彦(10)、高野 正信(5)、小沢 芳美(1)、後藤 洋子(1)、清水 達朗(5) 【高24】三井 久子(1)、山本 朗(2) 【高25】吉富 正尚(10)、高橋 徹(1)、堤 愛子(1) 【高26】山本 晃(1)、堀田 一郎(10) 【高27】益村 典子(5) 【高28】西田 真之(3)、内島 寛之(4)、清水 義裕(3)、西澤 正博(11) 【高29】宮崎 恵美(1) 【高30】大坪 由佳(1)、大島 寛治(1)、小山 昭子(2) 【高31】関島 勝巳(5)、矢崎 千枝(1)、大坪 隆明(10) 【高32】石山 達郎(2)、仲沢 浩一(1)、春木 康(3) 【高33】森林 慎介(1) 【高34】松田 博(1) 【高36】今岡 裕子(1) 【高37】房野 成実(3) 【高42】森山 法人(2) 【高44】中津留 勉(2) 【高45】洪井 豊一(5) 【高52】二宮 理華(5) 【高08】高校8期同期会(74.5)

広告掲載にご協力いただいた方

大泉OBOG合唱団

高13期	高野 尚志	たかのクリニック
高13期	中本 攻	中本総合法律事務所
高14期	神崎 隆洋	神崎建設株式会社
高14期	高木 登茂子	高木自動車
高15期	久保田 繁	久保田産婦人科病院
高16期	鈴木 次夫	鈴木クリニック
高21期	上主 和孝	
高25期	上原 正美	上原歯科医院
高25期	宇多 正行	宇多法律事務所

声

★まんぼ会の足跡、片山隆氏の絵、すばらしい!! 続校友の歌考の「使命をしめて」の解説、興味深く拝読しました。☆名簿発行への会長のご意志よく判りました。★まんぼ会の行く先が千差万別なのがいいですね。☆同窓生による母校のキャリア教育すばらしい。★淀縄、石井、菊谷、山谷の各先生とは同僚としてお付き合いさせて頂いた者です。謹んでご冥福を祈ります。☆大泉での教員生活は私の人生の糧となりました。★新校舎、グラウンドの見学会をぜひもう一度お願いします。☆まんぼ会の絵は圧巻です。★都立高校とはいえ、これほど同窓会がしっかりしている学校は数少ないです。☆昭和20年卒者からみれば今の子は大変幸福である。今回会長の言うごとく、同窓会の一番行すべき事は名簿作成である。★私も5回戦の立川市営球場へ駆けつけました。☆会報を見るたびに我々が学んだ時代との変化の大きさに驚いています。★卒業生名簿が一部の政党の特定の候補者の選挙運動に使われていることに憤りを

感じています。☆野球部のベスト16入りは快挙であった。★遠方に居ながら母校の状況がよくわかり、毎回楽しみにしております。☆別の高校出の主人が、いずみ会会報がこうしてずっと発行されていることに「さすが大泉だね」と感心していました。★名簿発行について高津会長の強い決意に賛意を表します。必ず反対意見はあると思いますが、これから大泉を志す人達にこんな良い贈り物はありません。☆P2とP3の活字が小さく読みづらいです。他ページ並みの大きさならば助かります。★校舎の写真などありましたらプリント印刷などで頒布して下さればありがたいのですが。☆今回号特にバラエティに富んでおり、楽しく読ませて頂きました。★喜寿を迎え6期生の近況が掲載されているか、天眼鏡を持ち出して探し楽しみに読ませていただいております。☆駅前のいずみ会室のPRをもう少し多くと思います。★役員は20期以後にするなど若返りを期待します。若い人の参加が会の継続に必要と感じます。☆大泉高校時代の親友と会報いず

みに載っている話題について時には懐かしく大盛り上がりします。★57号では自分がお世話になった先生方の異動や退職のことが分かりさみしく思いましたが、その旨を知ることができてよかったです。☆名簿の自分の欄には興味があります。有料で自分の載っているページをコピーして、送付してもらえないかと思っています。★「仁井良平さんの追悼」の優しさがとても心に残りました。☆戦時中一緒に在学した友人達のことがなつかしいです。学校に爆弾落下の時、機銃掃射のことなど、はっきりと記憶しています。★周りの垣根がお茶畑だった昭和25年ごろを今なつかしく思い出します。☆昨年5期の仲間と新校舎を見学することができました。今の学生さんはすばらしい校舎で勉強ができて幸せですね。★この夏は母校野球部の快進撃で猛暑も吹き飛びました。部員諸君、来年の夏も勝ちまくれ。☆茶道、古文でお世話になり、その後ご無沙汰しています。機会があれば古典文学講座に参加したいと思っています。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■先生方

教科	現姓	逝去日
芸 術	市村 緑郎	H26.4.27
社 会	原田 肇	H24.11.22
社 会	中野 三郎	H25.5.20
数 学	千田 勇司	H25.6

■会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去日
中学1期	牛山 浩一	H24.8.15
中学1期	永里 高平	
中学1期	藤本 直	H24.10
中学2期	新井 竹次	H24.12.31
中学2期	石井 泉	H25.4.11
中学2期	高橋 通一	H25.9.7
中学3期	高橋 宏	H24.7
高校1期	木村 法夫	H24.10.12
高校2期	浅見 弘孝	H25.7.9
高校2期	大橋 俊太	H25.5.25
高校2期	尾崎 宣也	H24.11
高校2期	永田 好男	H25.12.31
高校2期	米倉 温郎	H25.9.2
高校3期	佐藤 弘	H23.3.10
高校3期	清水 一郎	H25.5.15
高校3期	高橋 宏	H24.7
高校4期	浅見 文夫	H25.6.16
高校4期	大波 力夫	H23.12.26
高校4期	唐沢喜三郎	H25.2.13
高校5期	飯塚 弘蔵	H26.3
高校5期	斎藤 龍司	H25.9.6

高校5期	坂井 光	H24.3.5
高校5期	佐藤 文美	H25.12.15
高校5期	高杉 治朗	H25.7
高校5期	高橋 達男	H26.2.28
高校5期	堀口 武敬	H26.1.27
高校5期	功刀昌子(松本)	H25.4
高校6期	大野 益郎	H26.3.12
高校6期	最勝寺真澄	H25.5.30
高校6期	桜井 秀雄	H25.10
高校6期	仙田 正二	H26.3.13
高校6期	高岡 敬	H25.7.23
高校6期	平田 康浩	H25.9.5
高校6期	山口 利夫	H25.6.17
高校7期	金児 昭	H25.12.19
高校7期	志村 晴司	H25.7.23
高校7期	砂田 一郎	H26.6.19
高校7期	月野 和雄	
高校7期	吉見根子(町田)	H26.3.18
高校8期	吉田佐和子	H26.4.28
高校8期	大山 高根	H26.3.4
高校8期	横田 惇	H26.07.01
高校8期	小野 俊孝	H25.9.24
高校8期	中川倫子(市川)	H26.2.7
高校9期	遠山 孝	H25.8.9
高校9期	向井 洋介	H25.11.12
高校9期	帯刀 穂子	H25.11
高校9期	遠山 睿	H25.3.5
高校9期	山下 嗣夫	H26.3.18
高校10期	塩澤美智子	H26.4.18
高校11期	杉山 公治	H25.10.20

高校12期	星島恵美子(松本)	H25.8.25
高校12期	菅 典子(宮下)	
高校13期	加藤 能久	H24.12.17
高校14期	五明 優機	H25.7.10
高校16期	小川日出刀	
高校16期	佐藤 実	
高校16期	野々村和雄	
高校16期	丸山 寛迪	
高校16期	滝沢淳子(多田)	
高校16期	川本 皓一	
高校16期	早船和子(蔵園)	
高校16期	松本 操(山本)	H26.1.26
高校16期	片山 泰延	
高校16期	奈良 道彦	H25.8.13
高校16期	水野 康子	H26.3.22
高校16期	阿部 幸子	H25.12.24
高校16期	石川悠子(高橋)	H26.3.4
高校17期	森泉 周	
高校17期	桜井 宏	
高校18期	山西 茂美	
高校19期	松岡 英一	H25.1.30
高校20期	宮本 正信	
高校21期	佐々木勝美	H25.8.9
高校21期	安原 清	H25.8.8
高校22期	岡田 啓司	H24.7.26
高校23期	藤本 敏雄	H25.4.1
高校25期	北浦 幹也	H26.3.8
高校31期	石井文子(西島)	H26.6.10

お知らせ

●同期会開催応援

宛名ラベル・名札の作成、名札入れご用意、校歌校友の歌メディア貸し出し等、同期会の開催お手伝いをいたします。お申し込みは下記連絡窓口まで。

●駅前いずみ会室ご利用下さい

ご利用希望の方はe-mail: izumikai@v7.com またはfax 042-974-2045へ①ご利用希望日時 ②団体(個人)名 ③利用責任者～期・氏名・連絡先～を明記してお申し込みください。

●いずみ会文庫

皆様の著作をいずみ会へご寄付いただける場合はお手数ですがいずみ会連絡窓口までお申し出ください。担当者より改めてご連絡を差し上げます。(担当理事: 田村明子・高19期)

サークル活動

古典文学講座

講師: 大軒 史子さん(高9期)

1月から10回の講座。毎月第4木曜10時～12時。

会費300円。樗さろん

今年は徒然草を読んでいます。

茶道教室～茶の湯～

毎月第2月曜と第4木曜 14時～16時。

会費500円。樗さろん

指導: 本道 操子さん(高7期)

英語講座

講師: 廣瀬 芳子さん(高11期)

毎月第2火曜。10時～12時。会費400円。いずみ会室

2014年は「The Isle of Britain」。英語の本をゆっくり楽しんで読む初級の講座です。

囲碁

代表: 田島 寛さん(高10期)

毎月第3水曜。13時～17時。会費200円。いずみ会室

健康麻雀教室

代表: 青山 喜彦さん(高5期)

毎月第1・第3火曜。12時～17時。会費300円。いずみ会室

健康麻雀教室レディース

毎月第2・第4金曜。12時～17時。会費300円。いずみ会室

まんぼ会

代表: 大高 光蔵さん(高13期)

概ね奇数月に開催。宿泊行事もあります。会費200円。

新設! ハイキング部～里山を歩こう会～

代表: 石田 要久さん(高5期)

第1回目を検討中です。

●●●平成27年 いずみ会「70周年」記念行事●●●

いずみ会は平成27年に70周年を迎えます。それを記念して式典並びに懇親会を計画しています。会場は母校も考えましたが諸条件により断念。皆様が集まりやすい、西武線沿線の公的施設を利用する方向で話が進んでいます。期日は例年の総会と同じく10月開催を予定。皆様がいずみ会の70歳を祝って大いに楽しめる企画を! と今から準備をしています。そのためには担当の「5の会」に拘らず、多くの方々のお知恵とお力を拝借する必要があります。期に拘らず、広く協力者を求めていますので、是非この70歳の誕生年を祝う会を成功させるためにご参集いただけますようお願いいたします。ご協力いただける方はいずみ会連絡窓口あるいは080-1075-8766まで。どうぞよろしく!! お願いいたします。(70周年記念式典実行委員会)

●●●70周年記念いずみ会名簿●●●

いずみ会70周年を記念して名簿を発行いたします。

今回は製作を(株)サラトに委託して、平成28年1月に発行予定です。

名簿は予約販売とし、1冊3,000円の予定です。来年度、名簿作成に伴う調査・問い合わせのハガキが(株)サラトから会員の皆様へ届きます。つきましては皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。お問い合わせは19ページいずみ会連絡窓口・会員情報部まで。

いずみ会連絡窓口

ご意見・ご希望・住所変更・各サークルへのお申込み・いずみ会室利用申し込み等いずみ会へのご連絡・お問い合わせは下記までお願いいたします。

〒178-0063

練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号室

e-mail: izumikai@v7.com fax: 03-3925-1486

総務・企画部長 荒井眞理子(高20期)

編集後記

会報いずみ58号をお届けいたします。編集も大詰めの8月、元会報部長・杉山肇さん(高6期)ご逝去の報が! 一緒に編集会議でのすべてを包み込んで下さるようなカラカラ腹からの少しハスキーな笑い声が懐かしく。その後会計担当の副会長として会計システムの構築と管理にご尽力下さった。その大らかで、人情味あふれる笑顔を偲びながらの編集作業でした。

10月26日(日)いずみ会総会・懇親会のご案内

新しい大泉に、 4で！呼んで！よびあって！

長く工事を行ってりましたが、新しい大泉高校（および付属中学校）の施設がすべて完成しました。特に、人工芝の素晴らしいグラウンドをご覧ください。皆様が学んだ校舎の場所が校庭に、雨のときは大泉湖になった（これはある時期以前の方にしかわかりませんが）グラウンドの場所に新校舎があります。

と き 2014年10月26日(日)
 ところ 総会：母校1階食堂 14時00分～15時00分（受付開始13時30分）
 懇親会：練馬区立勤労福祉会館（大泉学園駅南口徒歩3分） 15時30分～17時30分
 会費 3000円（ただし60期～66期は1000円）

*ご出欠、その他の連絡は会報同封のハガキにて10月10日までにご返送ください。

本年度は「4」の付く期の皆さんによる『4の会』が懇親会の運営を担当いたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。2回目の担当となりますが、「呼んで！」をスローガンにたくさんの皆様の参加を期待しております。

都立大泉高校（旧大泉中）は一昨年70周年を迎えました。伝統というものはかけがえのないものであり、私たち卒業生にとっていつでも心の支えとなっているものではないでしょうか。多くの期で「同期会」を開催しています。どの期も、「校歌」「校友の歌」を歌えば、気持ちはすぐにタイムスリップして、高校（中学）時代に戻れるものだと思います。「同窓会」こそが「伝統」を受け継ぐものだと思います。校舎は新しくなっても「大泉の伝統」は引き継がれていきます。年に一度の「いずみ会総会」こそがその最大の機会です。特に、30期以下の皆さんの参加を期待しております。お気軽にご参加ください。「4の会」の総力をあげて、いろいろな企画を考えております。どうぞお楽しみに！

いずみ会会長 高津幸一（高13期） 「4の会」会長 大串康夫（高14期）



新しくなった母校（昔と比べると、校舎とグラウンドの位置が逆になっています）